



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

WEEKLY BULLETIN
**OSAKA
NAMBA**
大阪難波ロータリークラブ週報

ぞ気を付けてください。
4,5年前から大阪万博に向かって世の中が大きく変わると感じておりましたが、コロナ禍でもっとはやく一変するのではと感じています。変化に強くなるのが重要であると気づかされる1年となりました。弊社でも、業態の変化を起こしてきました。1990年代までは、食器・ガラス卸の関西でのトップシェアでしたが、流通形態の変化により、厨房機器も取り扱うようになりました。最初は1つの店舗からスタートしましたが、大阪難波RCを始め、皆さまのおかげでホテルやサービスエリア、全国展開するコンビニまで取り扱うことが出来るようになりました。変化を受け入れたことと、皆さまのご協力に感謝しかありません。また、グローバル化も今の時代重要なこととなっておりますので、関西留学生国際交流支援連絡会を

組織して職業マッチングの支援を行っています。これは、技能実習生ではなく、留学生とすることに意味があり、優秀な留学生が将来母国に帰国しても大阪への思いを持ってもらう種まきとして行っています。ここでも大阪難波RCの多くの皆さんより並々ならぬご協力を賜りました。他にも、日本版DMO取得しました一般社団法人大阪活性化事業実行委員会や難波スイス会、ミナミ会などでもご協力賜っております。これからも、「みんなで変わろう！まず自分から」をスローガンに頑張っていきたいと思えます。ご清聴ありがとうございます。



3月 結婚記念日 おめでとうございます

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 3月 8日 比嘉廉丈会員 ご夫妻 | 3月 13日 伊藤 仁会員 ご夫妻 |
| 3月 24日 遠藤友一郎会員 ご夫妻 | 3月 28日 伴井敬司会員 ご夫妻 |
| 3月 29日 西原芳博会員 ご夫妻 | 3月 30日 右田竹郎会員 ご夫妻 |

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
<p>3月18日(木)</p> <p>テーマ 「私とゴルフ」</p> <p>卓話者 荻原 奨 会員</p>	<p>3月25日(木)</p> <p>テーマ 「青少年プログラムについて」</p> <p>卓話者 第2660地区ROTEX会長 片渕 千尋 様</p> <p>卓話担当者 清水 一人地区青少年交換委員</p>	<p>言行はこれに照らしてから</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第25回例会 本日のプログラム

- 開 会 (点鐘) 通算第2115回例会
- ・ロータリーソング 「それでこそロータリー」
 - ・ソングリーダー 本間一成会員
 - ・来客紹介 友好委員
 - ・ストレッチ

会 食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 川口栄計会長
- ・幹事報告 福田 忠幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 SAA
- ・卓話

閉 会 (点鐘)

♪ それでこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローロー ロータリー

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥55,000
本日までの累計	¥1,851,500 (61%達成)
3月末の予算額	¥2,990,000

出席報告		
前回	3月11日	3週前 2月18日
会 員 総 数	58名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率 60.78%
出 席 会 員 数	33名	
出 席 率	63%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長:川口栄計 幹事:福田 忠 会報・雑誌委員長:三島敏宏 事務局:安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

鉄崎 薫 会員



(最前列右から3人目が鉄崎会員です)

私のロータリーのスタートは今から約二十年前です。後援会同僚に誘われて二六三〇地区のロータリークラブに入会しました。その当時は全国的に会員数が激減しており、1業種1社の原則も無き状況でした。お付き合いのある方数名をとり別々のロータリークラブへのお誘いがあつたこともあり、私自身入会に気が進まなかつたので半年ほど放置していました。すると、突如同僚から6月のある日に面接に来て下さいと案内を受け、出向くと「鉄崎君今月中に入会金と会費納めて下さい」との事で、そのRCの入会に至つた次第でした。あまりにも急激な展開と勧誘に驚愕した事を憶えています。少し躊躇もしましたが、そのRCに入会するに至つた最大の理由は、そのRCは野球部があり、入会すると翌月の月に全国ロータリークラブ野球大会で夏の甲子園選手として参加できるとの事でした。元々野球経験のある私は、甲子園出場が何よりも嬉しく、直ぐに入会金を振込みました。その後例年出席したこともないのに甲子園代理で参加

Rotary
Vol. 46
「テーマ 私のロータリーの思い出」
世代を紡ぐ
インタビュー

させて頂きました。その事は本当に有難い事であり今でも感謝しております。結果的に甲子園にはその後3回出場しました。実際のロータリー活動である例年出席するときに驚くことが多くありました。1つは、新入会員の業務です。例会当日の十一時には、会場にてお茶とコーヒーを用意をして、国旗ロータリー旗、ロータリーソングの掲揚と名札設置・配布物の配布の準備を行い、閉会後は撤収作業をする事でした。ロータリー会員は平等と伺っていた私は、それとなく当時の理事に「同じ会費を出して不公平ではないか? 皆一國一城の主ではないか?」と質問すると、理事は「鉄崎君一年辛抱しろ。その時にもう一度意見を申して下さい」との事でした。実際、日々活動を続けているうちに1年毎に少しずつ、真意を理解出来る様になり、当時の不平不満は脳裏から消えておりました。今となつては懐かしい事でもあり、有難く思う事でも有りませす。その中でも一つ目は、新入会員が名札を直接渡すことです。それにより新入会員は先輩達の顔と名前を覚える事ができて同時に先輩に自身の名前を覚えてもらう事でした。二つ目は国旗ロータリー旗の掲揚と理解できた事です。三つ目は日丸の向かって左側ロータリー旗は向かって右側とすることを本質を理解する事が出来ました。三つ目は、お茶とコーヒーを淹かしてやることにより、社員に何の抵抗も無く「コーヒーやお茶を用意できるよ」という事になりました。私にとって大きな成長となりました。また、クラブの会長職をする上での多くの事を学びました。例年入会前のセミナーです。拝命時の7月頃は緊張もありましたが、数カ月ですっかり慣れ、きて事柄の準備力もきました。同時に先輩の教わったのは、しっかり卓話を聴くことです。傾聴することが上りの原理原則が理解でき、原点が分かるようになってきたと思います。その様な気持ちの機会を得るロータリークラブ活動をこれからも大切にしたいと思えます。

これからの予定

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 3月25日(木) 例会 | 3月25日(木) ~4月30日(金) 献血週間 |
| 4月1日(木) 例会・定例理事会 | 4月8日(木) 例会 |
| 4月14日(水) 友好ゴルフ(万壽ゴルフクラブ) | 4月15日(木) 例会 |

3月は「水と衛生月間」です

前回の記録 第24回 3月11日(木)

★来客紹介：ありません。

★会長報告：川口会長

1. こんにちは。3月11日例会の会長報告を行います。新型コロナ感染者数も徐々に落ち着き、例会に参加される会員様も増えてきて嬉しく思います。先ほど、週報の「世代を紡ぐインタビュー」を読んでいまして、立花前幹事のインタビューを拝読し感激いたしました。西野会長・立花幹事年度の断腸の思いでの例会休会の決断を振り返り、ある意味、今期に関しては、非常事態宣言や集会等におけるガイドラインが存在し、決断に際し分かりやすい状況であります。手探りで英断された前会長・幹事に改めて敬意を表したいと思います。
2. さて本日の「ロータリアンの足跡」は、ベンジャミン・フランク・コリンズ(ミネアポリスRC)であります。ロータリーに関して、すでにレポートしました創始者のポール・ハリス、He profits most who serves bestを訴えたアーサー・フレデリック・シェルドン、ロータリー財団の父アーチ・クランプ、4つのテストのハーバード・テラーに続き、4例目のレポートです。新しい会員の皆様には必須ですので、この章に関しては詳しくお読みください。コリンズが提唱したのは”Service, not self”でしたが後に、自己を滅却して他人に奉仕すると言う宗教色が強いものだったので、“Service above self”に改編されました。すなわち日本語訳で「超私の奉仕」であります。また蛇足ではありますが、この標語は元々ミネアポリスRCに存在し、コリンズのオリジナルではないと言う意見もあるそうです。注意してお読みいただきたいのが、中段にあります。当時、ロータリークラブは、退廃した職業倫理に途方に暮れた会員の相互扶助の集まりであったことです。この提唱以前のクラブは、日本でもつい先ほどまでそうでありましたように、1クラブ1業種の原則がありました。クラブの中だけでお互いに仕事を申し合い助け合う為にこの定義が作られました。即ち外部に対して排他的であったと思われま。シェルドンとコリンズの奉仕理念への参画以降、「自分の為だけでなく、仲間の為に」と言う、会員の為に会員以外の人を紹介することも進めて行ったと解釈される方もおられます。このモットーが誕生した時の意味は、仲間を優先する事でありましたが、ロータリーにおいて親睦を重ね、奉仕理念が育っていく中で、このモットーは、ロータリーと共に発展・進化し、全人類に対する素晴らしいモットー”Service above Self”となったのではないのでしょうか。これにて本日の会長報告を終わります。

★幹事報告：福田幹事

1. 本日の週報に定例理事会の議事録を掲載しておりますので、ご確認ください。
2. 中川博之会員ご推薦の日高雅哉氏、坂本正樹氏が会員候補者として承認されました。本日書面でご通知しておりますのでご検討下さい。

★委員会報告

◇クラブ会報雑誌委員会：三島委員長

「ロータリアンの友3月号」の紹介

3月は「水と衛生月間」です。3月8～14日は「世界ローターアクト週間」です。
横P3 RI指定記事 RI会長メッセージ 「ロータリーとローターアクトの関係について」
ロータリークラブとローターアクトクラブに何ら違いはないと思っています。多くのロータリアンがローターアクトを青少年団体と見ている人もいますが、私にとってRACは私たちの一部であり私たちと同じ様な存在なのです。どちらも発展するためには、お互いに敬意を持ち、互いを対等の存在と見なければなりません」とホルガーRI会長は触れられています。
横P7～13 水と衛生月間特集 安全できれいな水を考える。
我々は日本の水は安全と考えますが、必ずしもそうでないかもしれません。水がめ探検隊・水質調査・河川の清掃保全活動など各地のRCの取り組みが紹介されています。
横P14～17 「アイデアでコロナ禍を乗り切るローターアクター」
派手派手マスクを通じてクラブの一体感の醸成や、クラウドファンディングでタイの貧困地域の子どもへの教育支援、奉仕活動を通じて一般市民に広報するための中止となった盆踊りを動画配信、あと少しで達成する根絶に向かって、駆け足で進んでいきたい気持ちを表す為にポリオTシャツを着て街中を走るなど、各地のローターアクトの活動の紹介
横P18～21 RI指定記事 シェカール・メータ次年度RI会長インタビュー
ロータリアンはボランティア。それは何かをしたいということ。の信念でインドにてロータリー活動をされていました。会長となり達成したい目標は2つ、「会員基盤を130万人」「奉仕活動」です。特に奉仕は女性のエンパワーメント(力を引き出すこと)を目標に挙げるとのことです。その上で「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」を次年度のテーマにされました。
横P22～29 今、思うこと 東日本大震災から10年2011年3月11日午後2時46分東日本大震災発生しました。多くのクラブが被災地支援をおこないまし

た。現地RCからの現況報告です。
P41～47連載コミック ポールハリスとロータリー ロータリー二つの標語の誕生「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「超私の奉仕」。ポールハリスのロータリーの根本的な考え方である、「ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿る」「ロータリーイコール“寛容”」を宣言する。

★ニコニコ箱報告：森副SAA

川口栄計：遅くなりましたが、妻の誕生日に美しいお花をありがとうございました。

福田 忠：東日本大震災の発生から丸10年となりました。大阪難波ロータリークラブの皆様で復興支援のボランティアに行かれたのが、その年の7月17日。コロナで中々思うように活動できないですが、その精神は忘れないでいようと思います。

千田忠司：本日の卓話、宜しく願い致します。

徐 正萊：北海道おこっぺロータリーから戻って来ました！又、よろしく願いします。

立花英司：皆様、お久しぶりです。

三島敏宏：東日本大震災より10年、被災者の心の平安をお祈りします。

中川博之：3月7日に京セラドーム大阪で関西コレクションを開催させて頂きました。今回のイベントを通して、若い世代の皆さんへ感動や元気をお届けし、大阪・関西の活性化に少しでも貢献できていると嬉しいです。

宮本倫明：随分とご無沙汰しております。ぼちぼち経済を動かしていくために頑張りたいと思います！！パートナーの誕生日祝い(11/1)の御礼。誕生日祝い(3/13)の御礼。

川井宗次：東日本大震災から10年経ちました。その時千葉に居ましたが、あの時の恐怖は忘れることが無いでしょう。

★卓話 テーマ 「自己紹介と変化」
卓話者 千田忠司会員

自己紹介の前に、「近大マスク」について説明します。別名「食ベマスク」と言って食事するときに非常に食べやすい仕様になっています。特徴としては、飛沫防止、表情が伝わる、息苦しくなくとなっております。コミュニケーションの街大阪の接客業にピッタリだと思いますので、飲食業界にお配りさせていただきました。
4月よりイオンさんで販売されることになっております。大阪難波RCの受付にもお配りしたので、ご覧ください。
以前、世代を紡ぐインタビューの担当から、自己紹介を聞きたいと言われましたので、今回の卓話にて改めて自己紹介をさせていただきます。

1950年5月1日のメーデーの日に生まれた71歳です。入会は、阪神淡路大震災のあった1995年8月です。当時は、前年の1994年に関西国際空港の開港や、個人的には、社長就任の翌年にあたりあります。紹介者は、南海電鉄の久保専務と南海サウスタワーホテルの本田社長で、26年前のことですが、昨日のこのように覚えています。入会理由の一つとしては、阪神淡路大震災で「何か物資を」と行動したのですが、至らなかつたことを感じ、大阪難波RCなら社会奉仕や職業奉仕が出来ると思ったからです。入会してみて、いろんな業界の人とめぐりあうことができ友人が沢山できてよかつたなと思っています。例会のある木曜日が自分にとっての休日のような日となりました。さらに、異業種の方から様々な考え方を勉強させてもらっています。このことが色々な会を組織する上で非常に役立ち感謝しています。
先週の卓話でコロナの話がありましたが、実は私自身が感染を経験しましたので、コロナの実体験をお伝えしたいと思います。昨年7月19日に入院し、8月6日に退院しました。はじめはビールの味に違和感を覚えるという、味覚障害の症状からでした。翌日、病院に行き血液とレントゲンの検査をしたところ、発熱もなく唯一炎症反応が高値を示していただけなので、病院としては大丈夫でしょうと言われました。しかし、やはり心配なので、保健所に連絡をしたところ何度掛けてもつながらず、区役所経由でなんとかPCRとCT検査にたどり着くことができました。結果は「陰性」でした。ただし、その夜から普段より少し発熱があり、36.5℃になったので、自宅待機を続けていました。体調の改善がみられなかつたので、再度PCRとCT検査を受けたところ、肺の1/3が真っ白の状態となっており、PCRも「陽性」がでたので、翌日救急車での迎えのもと入院することとなりました。病院では、15名程の看護師さんに迎えていただき、コロナ専用の4人部屋の病室が3室あり、8名の方が入院されていました。ドクターも数が足りないようで、研修医さんの対応となり、採血するにしてもなかなかうまくいかず私自身も大変でした。何故かその日だけ37.5℃の発熱があり、その日以外は一度も発熱がありませんでした。その際の治療としてはなにもありませんでした。コロナとしての大きな症状はなかつたのですが、後遺症があり、甘味や酸味はわかるのですが、辛味がわからなくなり、ワサビ、からし、カレーの味が2か月ほどわかりませんでした。それ以外は幸いなことに後遺症もなく、多少太ったことぐらいです。改めて健康体で産んでくれた親に感謝したいと思います。保健所は感染ルートを探すのに必死で、何時間も同じような質問を受けました。普段は立場上多くの人と会いますが、感染対策として人と会うことを控えていた時に感染をしました。ですので、皆さんもいつ何時感染するかもしれませんし、第4波もくるかもしれませんので、どう